

◆teku-teku2014★坂倉建築展+旧岩崎邸企画（活動記録）◆

企 画■建築家の原点を訪ねて（その1）～坂倉準三建築展と旧岩崎邸～

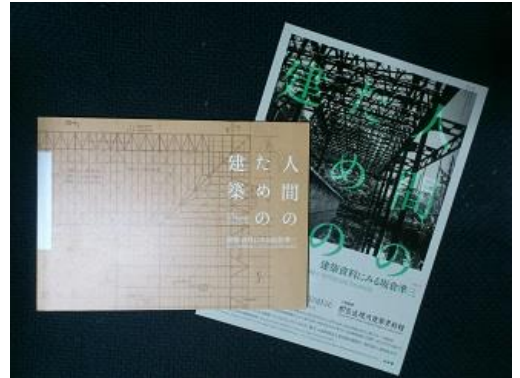
日 時■2014年1月25日（土）13:00～16:30

コース■国立近現代建築資料館／人間のための建築＝建築資料に見る坂倉準三展（ギャラリーツアー）

～旧岩崎邸建物（本館・和館・別館）＋庭園

参加者■井手幸人、大竹柊子、大竹 亮（以上3名、敬称略）

企画主旨■国立近現代建築資料館（2013年開館）は日本では珍しい建築専門の展示施設ですが、現在「人間のための建築＝建築資料に見る坂倉準三展」が開催されています（11/27～2/23）。巨匠ル・コルビュジェに師事し、戦後日本のモダニズム建築の潮流を創り上げた坂倉準三の代表的建築作品が体系的に紹介されています。パリ万国博日本館に始まり、神奈川県立近代美術館などの建築群、そして高度成長期の渋谷駅ビル・新宿西口広場・難波駅改良などの都市施設群という創造の歩みを、私たちの生活空間におけるモダンムーブメントを形成してきたという視点から振り返る非常に魅力的かつ興味深い企画展です。この資料館は湯島の旧岩崎邸庭園内にあるので、その建物と庭園も散策できます。時代を代表する建築作品群の原点を理解し、戦後モダニズム建築の意義を考えてみましょう。



<参加者の意見・評価>

1◆国立近現代建築資料館について

評価A●文化としての建築の位置づけが弱い日本ですが、国立でこのような施設が開設され、充実した企画展を開催していることは大変すばらしい。配布冊子も充実していました。上野公園に近く、旧岩崎邸内という立地にも恵まれています。これからもぜひ積極的にこうした企画を続けてもらいたいものです。

評価A●他国にはあるのにどうして日本にはないだろうと思っていました。貴重な資料館だと思います。

評価A●建築について学べる機会が少ないので、楽しかったです。



国立近現代建築資料館（旧岩崎邸側）



国立近現代建築資料館（展示室ホワイエ）



坂倉準三建築展・ギャラリーツアー



坂倉準三建築展・会場展示風景



## 2◆人間のための建築＝坂倉準三建築展について

評価A●坂倉建築のすばらしさを体系的に実感できました。特に、ギャラリーツアーに参加できたので、パリ万博日本館の経緯や作品の意義をはじめ、各建築作品の価値を改めて知ることができました。また、建築単体というよりも都市計画上で重要な建築（新宿西口広場、大阪難波駅舎など）もたくさん手がけていて、建築家のあるべき姿を再認識しました。各地で坂倉作品の建て替えの動きもあるようですが、ぜひ保存してもらいたいものです。

評価A●美しい建築の写真とともに、ギャラリートークや資料でその背景を知ることができて良かったです。

評価A●ギャラリートークと資料、とても勉強になりました。フランス館の図面、模型よかったです。

## 3◆旧岩崎邸建物＋庭園について

評価A●夕陽を浴びた建物がとても美しい。門から長い小径を入ると左手に建物が現われる配置構成は、盛り上がりがあってなかなかいい感じです。洋館だけでなく和洋折衷様式だと初めて知りました。中でいただいたお茶とお菓子も美味しかったです。しかし、敷地内に空地が多いので、やや散漫な印象になっているのが残念です。

評価A●2階の和室とデザインが好きです。

評価B●本館正面がすばらしかったです。



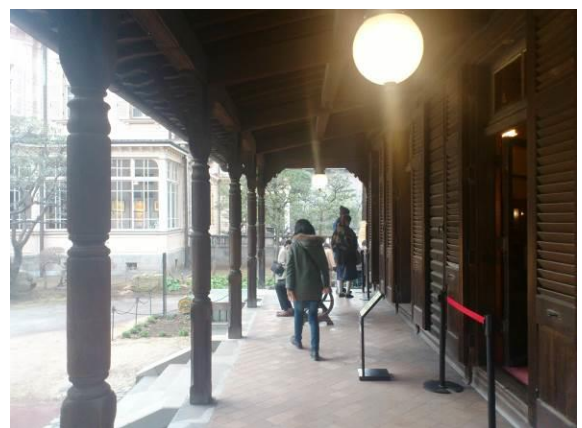
旧岩崎邸・本館正面（J・コンドル設計）



旧岩崎邸・本館の庭園側ファサード



旧岩崎邸・書院造の和館縁側と庭園



旧岩崎邸・別館撞球室の外部廊下

## 4 その他、今回の企画に対する感想など

●国立近現代建築資料館なるものを初めて知りました。とてもすばらしい施設だと思います。また、坂倉展の内容も非常に充実していましたし、ギャラリーツアーで廻ったので、さらに理解が深まりました。坂倉氏設計の建物（建築学会賞）に3年間勤務した当時を思い出しました。ぜひ、また行きましょう！（O・R）

●日本のモダニズム建築について勉強になりました。（O・S）

●良かったです。次の企画展も行きたいです。（I・Y）

